

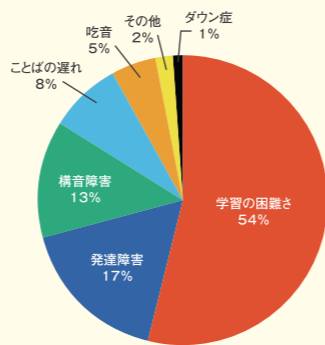
数字でみる錦海リハ

言語聴覚療法に特化した小児外来リハビリテーション 来院される方が困っていること

2019年10月から2022年9月までの3年間に163名の新規のご利用がありました。米子市内だけでなく、境港市や西伯郡、島根県からご利用いただいている方もいらっしゃいます。

学習の困難さを主訴としてご利用される方が多くいらっしゃいますが、これらにはことばの遅れは発達障害と重複している方も多くいらっしゃいます。この圏域における就学後の困りことを相談できる場として、認知されつつあるのではないかと考えています。

今後は【ことば】を窓口としながら育児の中の「ちょっと気になる」に対応できる場を目指していきます。



専門雑誌・書籍掲載

- 角田賢 (医師・病院長)
2022年診療報酬改定に向けた「回復期リハビリ病棟」の経営戦略「錦海リハビリテーション病院におけるリハビリの取組み【その2】」
Visionと戦略2022年5月号、保健・医療・福祉サービス研究会、2022.5
- 烏谷香蓮 (理学療法士)
回復期リハビリテーション病棟における家族見学の回数と自宅復帰率との関係
理学療法、メディカルプレス社) Vol. 39 No. 3、2022.5
- 角田賢 (医師・病院長)
特集 回復期リハビリテーション病棟における疾患・障害管理のコツQ&A-困ること、対処法-「(疾患管理)脂質異常症の管理 脂質異常症の資質管理はどのように行うか?」
Monthly Book Medical Rehabilitation No.276別刷、全日本病院出版社、2022.7.1
- 大坂保子 (看護師・看護部長)
わたしのリハマインド 「家族がおしえてくれた回復期リハビリテーション看護の原点」
リハビリナース5 vol.15 No.5 2022、2022.9.10

外部講演

- 北山朋宏 (作業療法士・リハビリ技術部課長)
生涯教育制度2020の概要と解説
令和4年度鳥取県作業療法士会総会後研修会、鳥取県作業療法士会主催、2022.5.15、オンライン
- 角田賢 (医師・病院長)
こんなところが変わった!これからの病院機能～2022年診療報酬改定と地域への影響～
松江市在宅医療・介護連携支援センター公開講座、松江市在宅医療・介護連携支援センター主催、2022.5.31、オンライン
- 板持光宣 (理学療法士)
フレイルに関連した栄養と口の健康の評価
鳥谷香蓮 (理学療法士)
フレイル予防に重要な栄養と口の健康
米子市フレイル予防事業 (令和4年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.6.14、オンライン
- 今田健 (理学療法士・リハビリ技術部次長)、遠藤美紀、足立睦未、烏谷香蓮 (理学療法士)
学習で取り組む腰痛対策は、再発率を減少させる
介護労働安定センター腰痛予防事業、介護労働安定センター主催、2022.6.15、オンライン
- 野坂進之介、遠藤美紀 (理学療法士)
フレイルおよび認知症予防のカギとなる「運動」について学ぶ
米子市フレイル予防事業 (令和4年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.6.21、米子市
- 藤井春美 (看護師・副院長)
「人材管理Ⅰ」～人材管理の基礎知識～
認定看護管理者ファーストレベル教育課程研修、鳥取県看護協会主催、2022.6.25、鳥取市
- 北山朋宏 (作業療法士・リハビリ技術部課長)
作業療法生涯教育概論
令和4年度前期現職者共通研修会、鳥取県作業療法士会主催、2022.6.26、オンライン
- 足立睦未、横木貴史 (理学療法士)
転倒・転落に気を付けてフレイルを予防しよう
米子市フレイル予防事業 (令和4年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.6.28、米子市
- 田村篤人 (言語聴覚士)
失語症と合併しやすい障害について
佐藤勝之 (言語聴覚士)
福祉制度概論
三好綾 (言語聴覚士)
コミュニケーション方法の選択法
失語症者向け意思疎通支援者養成研修 (アドバンスコース)、鳥取県主催、2022.7.3、米子市
- 板持光宣 (理学療法士)
歩く力を鍛えてのぼそ健康寿命
米子市フレイル予防事業 (令和4年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.7.12、米子市
- 永島敬子 (言語聴覚士)
食事に関する基礎知識
介護初任者研修、こうほうえん主催、2022.7.12、米子市
- 三好綾 (言語聴覚士)
コミュニケーション支援技法2
失語症者向け意思疎通支援者養成研修 (アドバンスコース)、鳥取県主催、2022.7.17、米子市
- 野坂進之介、横木貴史 (理学療法士)
フレイルと脱水症
米子市フレイル予防事業 (令和4年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.7.26、米子市
- 今田健 (理学療法士・リハビリ技術部次長)、木村誉、横木貴史、清水徹、松本昌樹 (理学療法士)
学んで取り組む腰痛対策は、早期の職場復帰を促す
介護労働安定センター腰痛予防事業、介護労働安定センター主催、2022.7.26、オンライン
- 田村篤人 (言語聴覚士)
失語症概論
佐藤勝之 (言語聴覚士)
意思疎通支援者とはなにか 意思疎通支援者の心構えと倫理
失語症者向け意思疎通支援者養成研修、鳥取県主催、2022.8.7、米子市

- 今田健 (理学療法士・リハビリ技術部次長)、横木貴史、野坂進之介、清水徹 (理学療法士)
学んで取り組む腰痛対策は、早期の職場復帰を促す
介護労働安定センター腰痛予防事業、介護労働安定センター主催、2022.8.17、オンライン
- 野坂進之介、清水徹 (理学療法士)
身体介助の方法
失語症者向け意思疎通支援者養成研修、鳥取県主催、2022.8.21、鳥取市
- 北山朋宏 (作業療法士・リハビリ技術部課長)
脳血管疾患に対する上肢へのリハビリテーション
山陰認知神経リハビリテーション勉強会 8月定期勉強会、山陰認知神経リハビリテーション勉強会主催、2022.8.27、オンライン
- 田村篤人 (言語聴覚士)
失語症のある人の日常生活とニーズ
失語症者向け意思疎通支援者養成研修、鳥取県主催、2022.9.4、鳥取市
- 北山朋宏 (作業療法士・リハビリ技術部課長)
対話を紡ぐ -Dialogue.2-
認知神経リハビリテーション学会学術集会 島根 開催前企画 中国ブロック認知を生きる合同勉強会、認知神経リハビリテーション学会学術集会主催、2022.9.5、オンライン
- 佐藤勝之 (言語聴覚士)
いつまでもおいしく食べるために
後期高齢者口腔機能向上支援事業、南部町主催、2022.9.8、西伯郡
- 北山朋宏 (作業療法士・リハビリ技術部課長)、平野正樹 (作業療法士・リハビリ技術部主任)
コミュニケーション支援技法II実習等
令和4年度鳥取県失語症者向け意思疎通支援者養成講座「アドバンスコース」、鳥取県主催、2022.9.25、米子市
- 井後雅之 (医師・名誉院長)
フレイル予防～運動習慣化について自らの経験を踏まえて～
米子市フレイル予防事業 (令和4年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.9.27、米子市
- 北山朋宏 (作業療法士・リハビリ技術部課長)、竹内茂伸 (言語聴覚士・副院長)
回復期リハビリテーション病棟においてリハスタッフが生活に関わるための仕組み作り ～作業療法部門の教育体制を中心に～
第8回リハビリテーション科学術発表会、三朝温泉病院主催、2022.9.28、東伯郡

学会発表

- 門脇康浩 (言語聴覚士)
言語聴覚士会員配置から見た島根県の地域包括ケアシステムにおける課題
第23回日本言語聴覚学会、2022.6.24-25、新潟県
- 山崎悠貴 (言語聴覚士)
大学病院との人事交流が自身に与えた影響
第20回日本臨床医療福祉学会、2022.9.16-17、山梨県
- 川上統司 (作業療法士)
訪問リハビリテーションにて他職種連携を回り、環境調整や適応訓練をすることで早期にQOL改善が認められた一症例
佐々木夏美 (作業療法士)
訪問作業療法における認知症高齢者への支援の効果 ～BPSDが緩和し、家族と共に穏やかな生活を取り戻した事例～
西垣美紅 (作業療法士)
当院における上肢用ロボット運動訓練装置 ReoGo-Jの運用 ～自主訓練に向けての試み～
第56回日本作業療法学会、2022.9.16-18、京都府・オンライン開催
- 野坂進之介 (理学療法士)
二重課題トレーニング、講義を含めた米子市フレイル予防事業が認知機能に及ぼす効果
永岡直充 (理学療法士)
通所リハビリテーションきんか配属期間中に報告したヒヤリハット事例から発生しやすいリスクを考える
平野正樹 (作業療法士・リハビリ技術部主任)
回復期リハビリテーション病院退院後の対象者に対してオンラインを使用した退院後支援の取り組み
石田拓海 (作業療法士)
当院における自動車運転パンフレット作製の試み～評価目的の理解促進に向けて～
山内亜美 (言語聴覚士)
「口腔リハビリ」と「義歯改造」を並行したことで3食経口摂取に至った一例の経過について
リハビリテーション・ケア合同研究大会 吾小牧 2022、2022.9.30-10.1、北海道・オンライン開催

※氏名、職員の肩書は掲載、開催時点のものであり現在は変更があります。

診療方針：わたしたちは

回復期リハビリテーション医療と地域連携を通して
患者さんの社会参加を支援します。

錦海リハビリテーション病院

〒683-0825 鳥取県米子市錦海町3-4-5

TEL 0859-34-2300【代表】

FAX 0859-34-2303



KINKAI NEWS



REHABILITATION HOSPITAL 錦海リハビリテーション病院ニュース

発行：社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院

TEL：0859-34-2300【代表】

E-mail：kinkai-hp@kohoen.jp

URL：https://www.kinkai-rehab.jp

2022 VOL. 16



SPECIAL 最前線 1

感染症と回復期リハビリテーション病棟

新型コロナウイルス感染症騒動から2年半が経過

新型コロナ騒動が始まって2年半が経過しました。常にマスクを着用し、いたるところにアクリル板が設置され、何かあるごとにPCR検査……。職員が突然仕事を休まざるを得なくなり、患者さんの試験外出、外泊訓練もままなくなり、市内のあらゆる病院、高齢者施設の面会が完全にストップして……とこれまで回復期リハ病棟で当たり前に行っていた退院へ向けた支援が大きく制約された状態も2年以上続いています。

鳥取県は全国でも新型コロナウイルス感染症が少ない県の一つであり、医療が崩壊しかけてしまった大都市部に比べると被害の少なかった地域ではあるのですが、逆にまるで「鎖国」状態のように県外との往来、他県の人々との接触の制限などが行われてきていました。この春からの感染の拡大で人口あたりの感染者数では全国平均と変わらないレベルまで上昇していますので、「県外から来ているから……」という制限の仕方はある意味ナンセンスな状態です。



クリーン仕様(清浄空気吹き出し型)と汚染除去仕様(吸引集塵型)のHEPAフィルター付きクリーンパーティションを設置した診察室



紙製フェイスシールド「ORIGAM」を事務部で組み立てている様子。全部署が協力して院内感染対策に取り組んでいます。

あらゆる視点から感染対策を見直す時期に

オミクロン株は感染力が従来のもものと比べ強くなり、エアロゾル感染が起こっていると指摘されています。従来型のときに有効であった感染対策が無効となっていたり、アクリル板などの遮蔽物はむしろ換気対策の妨げとなり、感染対策とはなっていないとの指摘もあります。またコロナ禍に入ってからすぐの頃には次亜塩素酸水が用いられたり、これの空間噴霧が行われたりしたこともありましたが、これらはすでに無効であるとされています。特効薬だとテレビで「専門家」と称する人たちが連呼した「アビガン」は効果なしとの研究結果が出ました。

科学的な検証の中で有効、無効が明らかになっても古い(有効性の低い)対策が残ってしまったものも少なくありません。やみくもにいろんなことをやっているせいで、その意味がわからず、逆効果となっていたり、その油断でクラスター発生の要因となっているものもありそうです。どの感染対策を継続すべきか、どの部分は緩和しても良いのか、感染を恐れるあまり、正しい回復期リハ病棟の運営を妨害していないか、患者さんの回復の妨げとなっていないか、病院で働くスタッフやその家族の心理的負担からメンタルヘルスの問題を引き起こしていないか、あらゆる視点から見直しをすべき時期となっていることは間違いありません。

社会福祉法人 こうほうえん
錦海リハビリテーション病院
院長 角田 賢

SPECIAL 最前線 2

院内研修の現在地

「こうほうえんe-ラーニングシステム」の充実を図っています

こうほうえんでは、2021年5月から、インターネットに接続してパソコンやタブレット端末から研修動画をオンライン視聴できる「こうほうえんe-ラーニングシステム」を導入しました。

当院でも従来型の集合研修に加えて、密を避けるといった感染対策の観点や、受講時間の融通が利くといった利点からも、現在のe-ラーニングシステムの充実を図っております。院内感染対策に欠かせない個人防護具(PPE)の着脱手順やサプリーダのフォローアップ研修など、全職員対象から階層別研修までの多様な研修の計画的受講が可能となってきています。

感染対策研修会



院内感染対策研修会 e-ラーニング研修動画

加入団体主催のオンライン研修も積極的に取り入れています

また、コロナ禍において加速度的に整備が進んだ、日本リハビリテーション病院・施設協会、回復期リハビリテーション病棟協会といった加入団体主催のオンライン研修を、院内研修として積極的に取り入れることで、米子の地にいながらにして全職員が最新の知見や全国の先駆的取り組みに触れる機会を日常的に得ることができるようになりました。



オンライン研修受講の様子

新型コロナウイルス感染症以降、院内研修の開催様式は様変わりしましたが、更なる質の向上を目指す当院の人財育成の在り方そのものは変わることはありません。これからも留まることなく創意工夫をもって職員皆で研鑽に励んでいきたいと思っております。

SPECIAL 最前線 3

リハビリテーション技術部の紹介 言語聴覚士のお仕事

言語聴覚士(ST)を知っていますか？

言語聴覚士(ST)は失語症・構音障害などのコミュニケーション障害や高次脳機能障害、摂食嚥下障害のある方を支援するリハビリの専門職です。当院には19名の言語聴覚士が在籍しており、充実したスタッフ体制となっています。病棟では毎日1時間の個別リハビリを実施し、他職種とチームを組んで退院後の生活を見据えたアプローチを行っています。また、地域のニーズに応える形で小児外来リハビリテーションの開設や訪問リハビリテーションにも力を入れています。



入院リハビリテーションの言語聴覚士

言語聴覚療法に特化した小児外来リハビリテーション

2019年10月より言語聴覚療法に特化した小児外来リハビリテーションを始めました。ことばが遅い、はっきりとお話ができない、お友達と一緒に遊ぶことが苦手などで困っているお子さんに、遊びの要素を取り入れながらお子さんの成長に合わせたプログラムを実施しています。また、学習に困難を抱えているお子さんが楽しく学習に取り組めるよう支援を行っています。ご家族が抱えておられる育児の心配事の相談にも応じています。



小児外来リハビリテーションの言語聴覚士

訪問言語リハビリテーションの取り組み

訪問言語リハビリテーションでは、ご利用者の自宅を訪問し「住み慣れた地域でその人らしい生活を送る」ことを目指し、コミュニケーションや口から食べることに個別・専門的リハビリテーションを提供しています。サービス提供実績は年々増加しており、「家族と会話ができるようになった」「少しずつ食べられるようになった」と喜びのお声を頂いています。訪問リハビリをより充実させるため、1回60分のリハビリも提供しています。



訪問リハビリテーションの言語聴覚士

TOPICS 01 上海海外株式会社より 病院視察がありました

6月21日～22日の2日間に亘って、上海海外株式会社より、代表取締役社長 茅建医様をはじめとする病院視察を受けました。

コロナ禍で長らく外部からの視察受け入れが叶いませんでしたが、感染対策を講じて当院としてはしばらくぶりの外部からのお客様となりました。当日は角田賢病院長を中心に、我が国の回復期リハビリテーション病棟の実際、当院の特徴的な取り組みについて説明し、日中両国のリハビリテーション医療の違いも踏まえつつ、互いに充実した情報交換の場となりました。

今後も地域への貢献はもちろんのこと、微力ながらリハビリテーション医療を通じた国際的な協力を継続してまいります。



視察後の集合写真

TOPICS 03 「自動車運転評価について」の パンフレットを作成しています

当院では、脳卒中後に自動車運転再開を希望される方に、自動車運転評価を行っています。

院内で実施する評価は、紙面検査やシミュレーターが主ですが、患者さんによっては、検査の必要性や目的が理解されにくく負担と感ぜられるケースもありましたので、これらの課題を解消するため、自動車運転評価についてのパンフレットを作成することとしました。



錦海リハビリテーション病院での
自動車運転評価について

このパンフレットを用いて自動車運転評価についての説明を行うことで、職員からは「イラストがあるため説明しやすい」「内容がまとまっているため漏れがなくなる」といった意見が聞かれ、患者さんからは評価についてのネガティブな反応はきかれなくなり、作製した効果を感じております。

今後もより分かりやすいパンフレットを目指して改訂を重ねていきたいと思っております。

「錦海リハビリテーション病院での自動車
運転評価について」パンフレットの表紙

TOPICS 02 オンラインを活用した 退院後訪問を実施しています

新型コロナウイルス感染症の地域感染拡大を受け、病棟リハスタッフと在宅部門との連携強化の新たな取り組みとして、訪問リハ利用時にオンラインを活用した退院後の家屋訪問を行っています。

オンラインでの退院後訪問は、現地に行かずとも、訪問リハスタッフ、退院された患者さんとリアルタイムに情報共有ができ、紙面や口頭では伝わり切れない内容や入院中の訓練が退院後の生活に活かされているか否かなども確認することができます。また、複数の病棟リハスタッフが参加してタブレット越しに意見を交わすことが出来るといった利点もあり、経験の浅いスタッフが退院後の生活を具体的にイメージすることが可能となるなど、教育的な手段としても有効と考えています。



オンラインを活用した退院後訪問の様子

TOPICS 04 土用の丑の日にあわせて 「うな重」を提供しました

専門調理師によるスペシャルメニューを年2回ほど企画しています。令和4年7月は、土用の丑の日に合わせて、和食の専門調理師が考案したスペシャルメニューを提供しました。

メニューはうな重、冷やし炊き合わせ(ミニトマト、なす、オクラ、海老、南瓜)、茶碗蒸し、茶そば、黒糖ムースです。患者さんより「おいしかった」「いつも丑の日はうなぎを食べていた」「食べれて良かった」などのご意見をいただきました。

今後も、このような取り組みを継続し、患者さんに喜んでいただけるよう努めてまいります。



土用の丑の日にあわせてスペシャルメニュー